

海・山・温泉・人が輝く 夢と温もりの郷

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 64

令和3年(2021)
11月11日

おもな
内容

補正予算・条例改正	2~3
令和2年度決算認定	4~5
一般質問	6~18
委員会報告	19~20
採決一覧・議案一覧	21
みんなの広場	22

トピックス 浜坂認定こども園候補地の役場東側調査も認めず!!
候補地評価検討業務予算を減額!!



コロナに負けないぞ 赤 勝て! 白 勝て!

(令和3年9月11日 照来小学校)

浜坂認定こども園

役場東側候補地に建設しない前提の 調査費は無駄!!

9月議会のあらまし

第109回（令和3年9月）定例会が9月1日に招集され、27日まで27日間の会期で開催されました。町長提出案件は、報告1件、条例案3件、事件案6件、補正予算案10件、決算認定11件の合計31件が提出されました。審査の結果、令和3年度一般会計補正予算は減額修正し可決、その他は原案通り可決しました。

条例等の改正

新温泉町奥八田交流施設条例の制定 **【可決】**

【説明】 奥八田地域の集落の維持と活性化のための拠点施設として建築された施設を管理するための条例の制定。

Q 冷暖房利用は、追加料金となるか。

A 追加料金にならない。

Q 指定管理制度が導入されているが、管理者の予定はあるか。

A 地元で設立する地域運営組織を予定し、同組織の拠点施設となる。光熱水費は町負担。

としたい。

町道路線の認定**【可決】**

【説明】 昭和50年頃から宅地造成された若松町の位置指定道路は、民家が立ち並び、生活に密着した道路であり、寄付申し出により町道として管理し、機能の向上、利便性を図る。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算（第4号）

【説明】 令和3年度一般会計の予算総額に3億713万2千円を追加し、総額を115億6、

614万5千円とするもの。主な増減は、ワクチン接種事業、商品券発行事業、宿泊助成事業、基金積み立て、ケーブルテレビ伝送路の共架移設、高齢者グループホーム2施設への防災改修支援事業補助、浜坂認定こども園修繕工事、同園の交通量・騒音・環境影響調査等検討業務委託に係る増額。

偉人マンガ作成事業

Q 予算増額の内容は。

A 印刷部数の増刷、カラーページとイラスト作製の増、編集委員会の開催数の減によるもの。

浜坂認定こども園候補地評価検討業務

Q 環境影響調査の内容は何か。

A 役場東側候補地の建設前と開園後の比較検討をしたい。またメリット、デメリットを精査したい。

Q 交通量調査は両方の候補地で実施すべき。

A 2カ所を対等に検討したい。

Q 現在地の浸水想定をどのように評価しているのか。

A 地区内に100%安全な場所はない。浸水区域では、浜坂全体が浸水し、町づくりができなくなり、その根幹が揺らぐ。

Q 役場東側の候補地について教育委員会で協議したか。

A 内部検討はしていない。

Q 浜坂認定こども園の補修は今後もあるか。

A 見えない部分の配管等突発的なものは考えられる。

新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種事業

Q ワクチン接種の財源はどうか。

A 全額国が助成する。プレミアム商品券助成事業

Q 商品券発行の目的は何か。

A 商工業者の支援をするため。

Q 前回買えなかった人への工夫は何か。

A 商工会本所・支所での受付とし、申し込み方式で1週間程度の優先販売を実施する。

温泉宿泊助成金事業

Q 誘客プランの作成を参加する宿泊施設任せなのはなぜか。

A 事業者が独自に工夫し、接客サービス、ファンづくりなど売り込む企画を期待している。

令和3年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

【説明】 新型コロナウイルス感染症に伴う国民健康保険加入者に係る傷病手当金は、条例で支給しているが、この度、見込み額を増額補正する。

令和3年度一般会計補正予算（第4号）

修正動議

太田 昭宏 議員

内容 浜坂認定こども園候補地環境影響調査業務委託料の減額

町長は、一般質問の答弁や出馬表明の会見で、建設は現在地と述べている。町長の意志が変わらないなら、何のための調査なのか。課題を見つけ、役場東側が、不適切であると結論をだすための調査なら無駄な出費である。さらに、降雨災害の勉強や、ハザードマップに示された浸水域内にあるこども園を視察するなど、当局と議会が建設に向けて行動する予算になっていない。

反対討論

浜田 直子 議員

保護者、地域の人々が、早く浜坂認定こども園の整備をと願っている。これ以上遅らせないために「候補地環境調査業務」の調査結果は、必要不可欠である。この調査を行わないということは、「役場東側」も認めないことになり益々遅くなっていく。公平な資料を作成し、一刻も早く前進するための調査である。

賛成討論

池田 宜広 議員

「浜坂認定こども園」の園舎移転・改築を遅延させる目的ではない。今後の本町を担っていく園児達の安全・安心の保育教育の施設は、出来る限り安全確保の高い候補地の選定を望むものである。民生教育常任委員会での賛成少数（不承認）との委員会報告もあり、適切妥当な結論と考えられる。先の一般質問の町長答弁内容を勘案

しても、税の執行権者として意中の場所ではない候補地のみへの予算提案は適正でない。

反対討論

森田 善幸 議員

修正案に反対し、原案に賛成する。修正案は、新しい候補地である役場東側の環境調査の業務委託料を削除するものである。今回の提案は多くの議員が反対する現在地周辺の調査はなく、議会の多数が賛同している役場東側の候補地の調査である。新しい候補地であるため、その地のメリット・デメリットを第三者の目で客観的に評価することが必要である。よって今回の調査費は、承認すべき。また、この補正予算は、コロナ対策の2つの大きな緊急経済対策とワクチン接種の必要な施策の補正予算である。

賛成討論

河越 忠志 議員

動議が提出された減額対象予算は「浜坂認定こども園整備候補地としての役場東側の環境調査業務委託料」である。私は今まで「現在地周辺」での整備を望んでおられる多くの方々の思いから、西側拡張での50年に1度の最大降雨に対しても、安全が確保できる整備方法を提案し続けてきた。今回の業務では、町長の意中になく「役場東側」の否定要素を得る目的であることは明白である。また、議会の大勢では「現在地周辺」が候補地の対象になっていない状況解消するためには、議員を納得させる防災対策を示す以外に方策はないものと考えている。

令和3年度9月補正予算（一般会計・特別会計・企業会計）

（単位：千円）

会 計 名			補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計			304,132	11,563,145
特 別 会 計	国民健康保険事業	事 業 勘 定	12,588	1,669,988
	後 期 高 齢 者 医 療		△ 264	237,461
	介 護 保 険 事 業		20,293	1,867,875
	浜坂地区残土処分場事業		16,114	225,928
	七 釜 温 泉 配 湯 事 業		3,417	10,318
公営企業会計（支出）	公 立 浜 坂 病 院 事 業		△ 864	1,618,678

賛成9・反対5で修正案可決。各会計の補正予算はすべて原案どおり可決した。補正額は、次のとおり。



『政策の効果をチェック!!』

決算認定は、決算から施策に成果を点検し次年度に反映すべく議論するものです。決算特別委員会では、議長を除く14名の委員で一般会計、特別会計、企業会計の全11会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面の都合のため一般会計審議の一部を紹介します。

人事管理

Q 時間外勤務が年360時間を超過する職員がいる。どう是正していくのか。

A 課内の協力体制、効率化などにより、時間外の縮減に努力していく。

Q 官製談合防止のための職員研修や職員不正行為再発防止検討委員会の成果は。

A 原因として個人・組織・システムの3つの問題をあげ、それぞれの防止策を策定し、各課で研修を行った。

財産管理

Q 公共施設、車輛等の管理台帳に未整備なものがあるのか。

A 車輛については、運行日誌で車検日等確認している。現在、台帳記入を徹底して行っている。

交通政策

Q 交通政策委員会の成果と湯めぐりエクスプレスの廃止の対策は。

A 高齢者福祉タクシーの拡充や浜坂高校生のバス定期券を半額にした。対策は、湯村・岩美便の増便をしている。

システムの改修保守

Q 支出金額が1億円を超えている。随意契約になっているが妥当なのか。

A 緊急時対応のため、システム納入業者と随意契約している。今後、見積もりは第3者を入れて検討していく。

人権啓発

Q コロナに関するSNS等の差別があったか。

A SNS等のモニタリングを一月からしているが報告はない。高校生から差別相談を受ける。

けたことはあり、先生に指導してもらった。

獣害対策

Q 有害鳥獣の対策の費用が増えているが、効果はあったのか。

A シカの捕獲頭数が増えている。被害面積・被害額ともに前年度より減少している。

Q 被害をゼロにすべく短期間に大きな投資をし、体制作りを考えるべき。

A 県の支援を受け、今年度は有害期間中に銃による駆除を考えている。

商工観光

Q 地域活性化施設（旧温泉高校）の管理状態が悪いことが新聞報道されたが、実態はどうか。

A 屋上防水の老朽化による雨漏りについては、早急に対応する。また、今後、施設利用希望者との交渉の中で

改修等を検討したい。

Q 杜氏館の土地家屋の購入に関して、価格決定のため、不動産鑑定を委託したのか。

A 破産管財人との協議により、町として適切な価格で合意を得たものと考えている。

ワーケーション

Q 拠点施設が2カ所できたが、今後の活用方法は。

A ログハウススカナダとCafe 98℃でスタートした。モニターツアー等で本町を紹介し、サテライトオフィスや関係人口の増加を目指している。

温泉活用

Q 湯村温泉のバイナリー発電は、停止したままだが、今後の活用予定はどうか。

A 現在、故障箇所は修繕済だが、根本的改善には至っていない。福祉避難所の非常電源

との位置づけだが、県業者との協議により、当初の設置目的に沿った活用ができないかを模索したい。

土木費

Q 道路橋りょう新設改良費の委託料に多額の不用額があるが、原因は何か。

A 温泉総合支所のアクセス道路の改良に関して、隣接地の用地交渉が進まず、土木との河川協議も進展がなかったため。

Q 浜坂中心市街地の狭小道路の除雪対策は、どんな計画になっているのか。

A 小型除雪機を導入し、社会福祉協議会に管理委託することを計画しているが、実際の稼働方法については、未定である。



災害対策

Q 昨年の大雪に対しての教訓は。

A 電線の切断、倒木等の対応は、関西電力と10月頃協議をする予定だ。今後、連携を図っていく。

Q 間伐、倒木の処理は、国や県に補助を求めている。

A 森林譲与税を活用し、間伐事業をしている。倒木の処理は、個人財産・個人管理の為できることは限られる。その他については、建設課及び農林水産課所管関係法令に基づき、対応を検討中である。

令和2年度一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論

谷口 功議員

コロナ対策の臨時交付金や定額給付金などを含め、一般会計の歳入総額は140億円に及び、過去経験したことのない規模となった。対応された職員の皆さんに敬意を表したい。

昨年に続き今年も、監査指摘は大変厳しい内容だ。一者随契の多用、債権管理実務、契約実務、職員育成、法令遵守など、全体の奉仕者たる地方公務員の基本が問われている。これは、町のトップの姿勢が問われている。

賛成討論

森田 善幸 議員

令和2年度は、コロナ対策に追われた1年であった。コロナで中止の事業も多々あり、一方で、緊急経済対策や感染予防対策が実施された。事業のタイム

ングや対象、迅速さ等について不満があるが、これまで未経験の事態の中、概ね妥当と判断する。移住定住施策については、本町が住みたい田舎ランキングで上位となり、外部の評価も高い。人口減少問題、未収金問題、認定こども園問題など、未解決の課題については、今後の解決を期待して一般会計決算の承認に賛成する。

反対討論

河越 忠志 議員

昨年9月議会で「おんせん天国カフェ事業」の運営方法にかかる多くの異論が出され、補正予算は認められなかった。その後12月議会で湯区が運営主体から外れる修正が加えられたが、同様に異論が多く出される中、タイミングの上で実施すべきとの立場から、賛成に加わり、僅差で補正予算は認められた。本年3月議会では、当該

カフェを担当する地域おこし協力隊員だけの一般社団法人で運営すると報告され、公益性・持続性の確保の問題を指摘したが、再修正の方向性が示されず、予算執行の在りようは看過できない。

令和2年度温泉地区残土処分事業決算認定について

反対討論

阪本 晴良 議員

問題は、土地代4万2千円に対し、土地鑑定料を34万5千4百円の委託料を支払ったことは、地方自治法第2条の「最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない」という規定に抵触していると思う。既に工事は終了しており、周辺の買収価格に利息分を加算して支払うべきものである。

また、人材を育成する面からも研修も必要だが、実務経験が近道である。1件の事務処理は軽微な事務で技術向上のためのいい題材であり、せつかくのチャンスを生かせなかったことは町の損失である。

賛成討論

中井 次郎 議員

現在では、エアコン1台を設置する工事でも、設計監理が必要とされている。土地鑑定で公に算定することで公平性が保たれる。地権者も納得することができる。

反対討論

河越 忠志 議員

昨年3月議会で「温泉残土処分場事業予算」について、5万円程度の未登記用地を取得するために35万円の予算が計上されていることを指摘した。不適切であるとの多くの意見も出されたが、拒否の答弁はなかったため、修訂協議を出さなかった。その後の確認質疑に対して「粛々と執行した」

と答弁があり、決算審査でも「規定に従った」と答弁にとどまった。また、今後の工夫改善の意向が全く示されなかったため、決算認定できない。

令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

反対討論

谷口 功議員

保険料の所得割率が、10・17%から10・49%に引き上げられた。年金収入80万円以下の人の特例軽減は9割軽減であった人が、7割軽減に引き下げ。年金収入168万円以下の単身の人は、現行8・5割軽減であった人も57・7%の引き上げになった。年金生活の高齢者はコロナ禍の下、暮らしが大きく圧迫され、医療費抑制が進んでいるとの調査も出された。保険料を元に戻すことを求め、反対討論とする。

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているか点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
7	竹内 敬一郎 ①災害用備蓄品の点検と活用【掲載】 ②新型コロナウイルスワクチン接種体制【掲載】 ③林業の振興【掲載】	13	阪本 晴良 ①小規模校への取組みについて【掲載】 ②ICT教育について【掲載】 ③ハラスメント防止について【掲載】
8	中井 次郎 ①新型コロナウイルス感染症拡大下における生活、営業支援の方策【掲載】 ②新型コロナウイルス感染症に対する、ワクチン接種の状況【掲載】 ③税と料金の滞納について	14	重本 静男 ①教育行政について【掲載】 ②町長の町政運営の成果について【掲載】
9	池田 宜広 ①我が町の今後について【掲載】	15	宮本 泰男 ①土砂災害、防災、減災対策について【掲載】 ②浜坂井土線の交通安全対策について【掲載】
10	河越 忠志 ①町当局と議会との関係性について【掲載】 ②地方分権の意義について ③町の振興策について ④ふるさと納税制度の活用	16	浜田 直子 ①地産地消給食で、めざせ日本一の給食！【掲載】 ②子育て世代の移住・定住支援と施策について【掲載】 ③高齢者の暮らしと生きがいについて【掲載】 ④男女共同参画で、少子化・人口減社会を豊かに、住みよいまちづくり【掲載】 ⑤コロナ禍における地域産業の経済支援について【掲載】
11	森田 善幸 ①財政運営について【掲載】 ②有害鳥獣被害対策について ③新型コロナ感染症対策について ④温泉を活用した健康増進について ⑤温泉を活用した観光振興について	17	谷口 功 ①浜坂認定こども園改築について【掲載】 ②新型コロナ感染症の爆発的広がりへの対処を問う【掲載】 ③広島平和記念式と核兵器禁止条約について
12	中村 茂 ①企業誘致（進出）とワーケーション【掲載】 ②情報基盤は社会のライフライン	18	太田 昭宏 ①人口減少と将来に向けての町づくり【掲載】 ②地域の子どもの成長と教育の展望【掲載】

※質問は通告受け付け順に掲載しています。【掲載】は記事にした質問事項です。



竹内敬一郎 議員



災害時の備蓄品に乳児用液体ミルクの導入を

町長 本年度より購入を予定している

災害用備蓄品の点検と活用

問 本年度から乳児用粉ミルクが備蓄されたが、液体ミルクも併せて導入してはどうか。

町長 今年、購入を予定している。

問 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、購入した備品がかなり増えている。防災倉庫を増やす計画はあるか。

町民安全課長 空き公



災害で水や電気が止まってもそのまま利用できる

共施設を有効活用する予定である。

新型コロナウイルスワクチン接種体制

問 国内の新規感染者は、約7割を30代以下が占めている。若い世代が、接種を早く希望した場合の対応は。

町長 現在、麒麟のま

ち圏域にある他市町を

利用している。本町も

医師会との連携を深

め、早く接種ができる

よう対応していく。

問 自宅療養者の生活

支援対策は。

町長 保健所が食料品

援することはない。
問 副反応は、SNSなどでデマ情報が流され、若い世代では、接種を希望しない人が増えている。町は正確な情報を発信し、若者の接種向上に努めるべきではないか。
町長 正しい知識を認識してもらうため、広報を配布している。
問 12歳未満の人は接種が受けられないが、学校での対策は。
教育長 緊張感を持って、感染予防対策を徹底するよう校園長会で伝えている。

林業の振興

問 世界的に木材の価格が高騰している。新型コロナウイルスが発端となったウッドショックの認識は。

町長 国内産が少ないという現状がある。3

つの原木市場 和田山・八鹿・山崎で、本年4月から高騰していると聞いている。

問 森林組合への支援強化に努め、木材搬出の推進を図るべき。

町長 北但西部森林組合に高性能林業機械の導入を助成している。今後機械に対する助成を予定しており、ウッドショックに対応していく。

問 脱炭素社会の実現に向けて、木材の役割が注目されてくると思われる。今後、林業従事者が持続的に森林管理を行っていくための、支援強化が必要ではないか。

町長 森林組合のみならず、個人経営でも山で生計が立てられるよう、国・県の制度を活用し、町が支援していく。

コロナ禍における、生活・営業支援は

町長 今議会で支援策を提案する



中井 次郎 議員



プレミアムでなく、クーポン券を、水道料金の減免を求める

問 旅館料飲組合や観光協会から、昨年に続き、コロナ対策として水道料金基本料の減免をして欲しいとの要望があった。減免という支援策を、臨時会を開いてでもしたいと町長は答弁した。この間に臨時会は開かれていない。

町長 9月まで待とうということになった。この7月1日にはプレミアム商品券を発行し、1日で完売となった。

しかし、買えなかった人がたくさんいるので、10月に追加でプレミアム商品券を発行したい。また、宿泊支援も行いたい。

問 プレミアム商品券というのは金がなければ買えない。6月議会で社協から融資を受けている方で、手持ちの現金が1万円という方は買えない。税金を使う以上公平性が必要だ。養父市では市民全員に額面5,000円のクーポン券を支給している。これならすべての町民にいきなり、公平性も保たれる。

町長 すべての町民が恩恵を受けることを基本的に実施していく。水道料金の減免もすべての方が恩恵を受けられるので、今後検討していく。

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の状況

問 ワクチン接種の現

状を全町民に知っていただく。一日も早く接種が推進されることを願う質問をする。接種は極めてスムーズである、職員の対応に高い評価の声が出ているが、対象者数は。

町長 新温泉町で接種の対象者は1万2,715人だ。

問 対象者の内、接種済みは何人か。

町長 8月31日現在で

1回目接種済みが9,110人、71・65%、2回目が終わった方が7,743人、60・90%となっている。

問 土日に接種会場が設けられ、多くの職員が運営に携わっている。職員は接種済みか。不特定多数の町民とかかわるわけで、早く接種をすべきだ。

町長 そのようにする。



いよいよ10代の接種がはじまった。一日も早い接種完了を願う



池田 宜広 議員



4年1期、自己の総括評価は

町長 7割切った辺りと考えている

4年間の自己評価はどうであったか

問 この4年間総合的にみて何点であったか。

町長 コロナ禍があり、残念だが7割弱と考えている。

問 約3割引きとのことだが、なぜそのようになったのか分析はできているのか。

町長 色々な分析の仕方があると思う。皆さんの評価に任せたい。



各課題解決に向け安全衛生委員会にて徹底的に議論

問 条例、規則、要綱と上程議案が完全に仕上がってない議案も多くなったのか。

町長 上程の仕方が悪いというのは確かに一部にはあったが、その

点は重々反省し、今後の運営をしたい。

事件・事故事案が多発した4年間

問 個別内容は示さないが多くの事件・事故

があった。何が原因か。反省、改善に努めよ。

町長 確かに重大な事件を起こしている。町民の皆さんにお詫びする。数々の事件が重大事件にならないよう、コンプライアンスを含め、接遇の徹底に努めたい。

安全衛生委員会の役割は重要

問 事業規模に応じ、安全委員会及び衛生委員会の設置義務があり、毎月1回の開催が義務付けられているが、開催はされているのか。

町長 現在開催をしていない。職員及び労働組合へ各種の状況報告をし、情報共有に努めている。

問 民間事業者は毎月適正に開催している。「行政指導」との文言

があるように、行政はきっちりと開催し課題解決に努めるべきだ。

町長 今後徹底したいと思う。

問 コロナ禍により職員の業務量も増し、特に精神衛生に気を使うべきと提言しておく。

町長 ご指摘のとおりと考えている。

除雪体制の現状維持は可能か

問 予算措置（重機更新補助金）などにて解決出来るものと、出来ないものがある。建設業への従事者は年々減少している。水源確保も課題と考えるが、消雪路線の延伸も検討すべき。

町長 今後、建設業者との協力関係を築き、体制維持に努めたい。

望まれる町長：町当局と議会との関係性は

町長 役割を分担した車の両輪のようなもの



河越 忠志 議員



問 議員は、町民から選挙で選ばれた一人ひとりで、また、町長も住民から選ばれた存在だ。それぞれ民意を反映すべき立場として、町当局を率いる町長と議会とは、どのような関係性が望ましいと考えているか。

町長 二元代表制の下で執行機関の代表として選ばれたのが私で議決機関の一員として選ばれたのが各議員だ。それぞれの立場での役割分担がある。その役割を認識した上で、議会は足らざるを補う、行き過ぎを防ぐ、そう

いった点で、車の両輪に例えられる。そのため、困難な課題においても町政が前向に進むような良好な関係性を望んでいる。

議会の提案否決の理由は徹底調査すべき

問 行政施策を計画し、実行するのが町当局側。また、それについて、住民の福祉を考え、住民の立場で実行を可とするか、あるいは止めるのが議会の役割とというのが基本だ。ただ、一方で、議会はそれだけでは足りない機能を住民

から期待されていると思う。計画が提示されて、執行させるかどうかの判断が求められるとき、完全な計画であれば可決される。不完全だと思われれば修正案が出される。あるいは、全く駄目だと否決される。そのときの基準は、「住民の福祉」

であり、「住民のため」というところにある。そうだとすれば、否決されたときに、なぜ否決されたのか、修正であれば、修正案が提示されるため、目的の内容は明白だ。ところが、否決された場合は、何らかの形で、その否決された理由を町当局側



温泉天国カフェ「カフェ 98℃」が運営されている施設

が正確に理解しなければ次の進展につながらない。場合によっては、何かの誤解によって否決されることもある。その否決理由の理解が欠けていたのが「おんせん天国カフェ事業」であつたと思う。昨年の9月議会でも550万円の補正予算が否決された。理由は「官民に亘る町全体の不均衡」であり、地域おこし協力隊員だけを構成員とする一般社団法人が運営しても地域貢献事業の基盤を築くことはできない。12月議会でも補正予算が可決されたとは言え、運営組織の見直しが必要だ。

町長 住民目線というのを基本に考えて推進を図るということが大事だと考えている。



森田 善幸 議員



基金の積み増しの要因は

町長 少ない資金で最大の効果をめざした結果

基金残高の変遷

問 予算審議等で、財政調整基金を使いすぎるといふ議論があったが、決算段階では、財政調整基金は微減にとどまり、平成29年度末22億1,800万から令和2年度末20億2,700万円。その他の基金を加えると平成29年度34億3,500万円、令和2年度末37億5,300万円と微増しているが、町長の所感は。

町長 コスト意識の徹底や、少ない資金で最大の効果という事業の取組姿勢が、基金の積み増しにつながったと考えている。

地方債残高の変遷

問 本町の地方債の4

年間の残高の推移を見ると、平成29年度、13億6千万円、30年度に13億9千万円、令和元年度、14億4千万円、令和2年度、15億2千万円と、直近の2年間でかなり増えている。その要因と残高の変遷の所感は。



今年度より本町でも始まった企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

町長 新残土処分場に

十数億円使い、夢ホールの改修に7億4千万円使っているのが要因である。新残土処分場は、今年度から、残土の搬入が始まり、歳入が増え、返済に充てる。地方債と基金のバランスが難しいが、コロナ禍で町内の経済が厳しい状況であり、基金を効果的に使うことも重要だ。

町税の変遷

問 この4年間、個人町民税はほぼ変わらないうが、法人町民税、固定資産税、町たばこ税、入湯税は減少している。軽自動車税のみ増えており、総額は、平成29年には14億1千万円が徐々に減少し、令和2年には13億4千万円となっている。その原因の分析と対策は。

町長 要因は様々だが、

コロナ禍で大きく事業者の営業活動が減り、町民税、入湯税が減っている。地価も下落をして、固定資産税も減っている。コロナ禍を収束し、景気をよくするのが肝要である。

ふるさと納税の変遷

問 平成30年度より、特産品をお礼品とする本町の取組が始まり、平成29年に190万円だったふるさと納税寄附金は、急激に増え、令和2年度は3億1千万円となった。この4年間の取組の評価と今後の展望は。

町長 地域の産品のPR、生産意欲を高めることで、町の農水産業の活性化につながる。町自体のPRができる。今後も企業版ふるさと納税も取り入れ、推進を図っていきたい。

旧温泉高校の管理と活用は

町長 放置された状態にあり、利用が厳しい



中村 茂 議員



問 近年の、企業誘致、進出及び町内企業立地奨励制度による雇用や、他の効果は。

町長 過去5年間で平成29年度1件（建設会社、雇用4人）、本年度に1件（開設準備中）で大変少ない実績だ。

旧温泉高校の管理が不十分

問 町の地域活性化施設（旧温泉高校）の管理と活用はできているのか。

町長 管理の所管は商工観光課。先々月、温泉高校を活用したいと



旧温泉高校は企業誘致等、雇用の場の拡大のために県から取得したが、管理不足で活用ができにくい状態にある。

いう申し出があった。現在、管理ができておらず、放置された状態であり、利用が厳しいと思う。

問 企業立地奨励制度の見直しは（過疎減免等の場合は助成金がない）

町長 平成26年度、企業立地助成金の交付期間を3年間で5年間に延長、雇用促進奨励金も年額5万円から20万円に増額した。当面、見直しは考えていない。

企業の強い体質づくりに支援

問 コロナ禍にあつて

企業立地奨励金のみならず、企業育成から資格取得や受講料、従業員研修など、企業の強い体質づくりに行政も支援すべき（特に介護施設など）。

町長 事業所の活力や収益力強化には当然人材育成が必要、人材育成制度の充実が図れないか検討したい。

問 湯村温泉の某旅館が大坂の企業グループに経営譲渡されたようだが、どのような事業をする会社か。

町長 大阪の旅館や老人ホームを経営する大阪の会社と聞いている。正式には把握していない。

問 同社は、医療とか福祉分野を含めた事業

を進めたい。

グループだと聞いている。従来から意見してきた滞在型でフレックスパーク等を使ながら、温泉を活用した健康づくりや新湯治の体験事業ができないか。

町長 新たな事業展開で雇用促進につながるように期待したい。

ワーケーションの支援制度を

問 本町のワーケーションのモデルプランや支援制度を映像で発信すべき。町内全般にワークスペースやWi-Fi環境の活用方法として提案したい。

町長 町内には様々なすばらしい施設、景観があり、活かすという意味から、その提案を進めたい。



阪本 晴良 議員



地域が疲弊するため、学校統合はしないか

町長 地域の意見を念頭に方向性を出す

小規模校の存続を

問 学校統合は人数ではなく地域の実情により進められているが、出生数が昨年度は54人、元年度は63人である。これまで学校統合はしないと発言していたが今でもそうか。

町長 状況に応じて検討する必要がある。一つの考えに固執せず、地域の意見を念頭に方向性を出していく。

問 山村留学制度、小

規模特認制度の導入はどう考えるか。

教育長 どちらの制度も特色ある学校づくりや町の長期的なビジョンを立て、地域や保護者の理解と協力が必要である。

問 学校存続はどういう取組みが必要か。

教育長 地域の人材を活用しコミュニティを広げ、つながりを持つことが必要である。

ICT教育の充実を

問 6月議会では「温泉地域は1ギガで、浜坂地域の5校は1ギガに契約変更したので問題は無い」との答弁であったが現状は。

教育長 4校で各8台ほどがつながるが、後



タブレットを活用した授業。今は国語のみだが順次導入される。

は待機状態になる。現在、調査中である。

問 不登校児童の学びの保障の取組み状況は。

教育長 適応教室では

オンライン学習ができるが、通えない人はできてない。可能な限り対応したい。

問 学習以外のゲーム等に使用は可能か。

教育長 端末にフィルタリングをかけてあり有害情報は遮断してある。

問 教職員への労働時間の増加対策は。

教育長 研修でスキルアップを目指しているが、専用サイトの活用で教材準備、評価資料など時短につながることを想定している。

職員のパワハラ対策は

問 法律が施行され雇用管理上、策定しなければならぬが、現状は。

町長 要綱と指針を策定している。11月には職員研修を予定している。相談員の配置は検討する。

問 以前町長もクレマーと一緒に行動していたが、カスタマーハラスメント対策は。

町長 不当要求に応じないように、また対応能力を高めるため研修を行う。

浜坂高校への具体的支援策は

町長 町独自の支援策を教育長と共に考えていく

教育行政について



重本 静男 議員



なげていきたい。

幼・小・中学校の防犯教育について

問 今年度、県立浜坂高校入学生のだ員割れに危惧している。存続に向け、支援していく具体策は。

町長 これまでに、バス通学生の定期券半額補助や高校生までの医療費の無償化、支援金助成を行っている。今後も町独自の支援策を教育長と共に考えていく。

問 小・中・高連携の施策は。

教育長 教育委員会事務局と浜坂高校の間で、7回協議の場を設けた。その後、中学校との協議も進めており、浜坂高校の魅力づくりにつ

問 池田小学校児童殺傷事件から20年が経過した。犠牲者8名、負傷者15名の大変痛ましい事件である。本町において、園児・児童生徒の防犯教育をどのように実施しているか。

教育長 こども園では、「いかのおすし」(行かない、乗らない、大声を出す、すぐに逃げる、大人に知らせる)などの教育をしている。児童生徒については、学校危機管理マニュアルの策定、不審者対応に合った避難訓練をして

いる。

問 学校の防犯カメラの設置状況は。

教育長 こども園すべてに防犯カメラを設置しているが、小・中学校では、浜坂南小学校と浜坂中学校に設置している。

町長の町政運営の成果について

問 平成29年10月29日に執行された町長選挙において、初当選して今日まで、1期4年が経過し、任期満了を迎える。「めざせ！温泉天国！」の達成度は。



魅力ある学校づくりに町民の支援が必要

町長 新温泉町の名前にふさわしい温泉活用のまちづくりをめざした。後半2年間はコロナで終わったが、当初の2年間は様々な取組みをした。施策の成功率は高くはない。

問 自身の選挙公約を9つ上げていたが、満足できた施策や事業にどのようなものがあるか。

町長 おんせん天国室の設置や牛舎の建設、支所機能の充実など。

問 この4年間で未完成的のものや不足のもの、やり残したものを問う。

町長 まず、子育て環境の充実である。認定こども園の場所選定に代表されるが、早期にやり遂げたい。次に、おんせん天国のさらなる充実を図ることにより、観光はもちろん、健康増進、健康寿命を延ばす施策に力を入れる。



宮本 泰男 議員



本町「土砂災害危険区域」が多い 土石流、土砂災害に万全を期せ！

町長 適切な避難行動に「マイ避難カード」を促進する

問 線状降水帯による豪雨が発生し、全国各地で甚大な被害が起きている。町内の住宅は、山裾にたくさんある。いつ土砂災害が起こるか心配される。町長の認識は。

町長 発生場所や時刻を正確に予測することが難しい災害である。

土砂災害危険区域

問問 危険区域内にある戸数を集落ごとに把握

し、未然防止、定期巡回、災害復旧の確認、早期整備をしているか。

町長 箇所別土砂災害危険度予測システムの危険地域を消防団がパトロールする等警戒活動を行っている。毎年



山すそにある住宅

指定避難所

問 土砂災害避難所の確保、周知徹底方法を検証しているか。

町長 ハザードマップ等で周知している。温泉地域では土砂災害に適した避難所が少ない。民間施設の利用も検討予定である。

問 防災、減災意識向上の具体策は、危険区域の住民単位の避難訓練を実施し、土砂災害警戒情報に忠実に行動するよう、啓蒙活動すべきである。

町長 自主防災組織の防災訓練への交付金支給、防災リーダーや防災士の育成に努める。「マイ避難カード」の作成を促進する。

浜坂井土線の交通安全 全対策について

問 JR浜坂駅東側田君踏切から国道178

号線、県道47号線までの交通量が最近急激に増加し、交通事故も多発している。

安全対策として、①道路の幅員拡幅、②歩道の整備、③横断歩道の設置・見直し、④右折帯の設置を早急に取組むべきである。

町長 道路構造、歩道の整備は新温泉土木事務所に要望をしている。横断歩道の設置、右折帯設置は県土木・公安委員会と協議したが、設置基準以下のため、必要なとの回答であった。浜坂道路Ⅱ期工事が始まった。交通量、歩行者の動向を見ながら、関係機関と協議の上、対策を講じる。警察署や関係団体等と連携し、交通事故防止運動を展開し、交通事故のない町を目指す。

地産地消で目指せ、日本一の給食！希望する浜坂高校生にも提供を

教育長 地元の皆様と協力しながら、日本一を目指す
そうならば本町の自慢につながる



浜田 直子 議員



地産地消で目指せ、日本一の給食

問 食の宝庫である新温泉町の食材・特産品で子ども達の心と身体の成長を応援し、日本一の給食を目指しては。

教育長 現在、地産地消を一つの柱に取り組み、手づくりで真心こめて提供している。目標を高く、日本一の給食を地元の協力を得て目指し、そうならば本町の自慢につながる。

問 漁港・牛舎・田畑・果樹園・食品加工場など、現地を訪問し、生産者との交流が、ふろさと教育、生きた食育となり、生産者の励み

になるのでは。

教育長 漁協からも、ホタルイカなど年に4回提供がある。今後も更に提供されるそうだが、社会の副読本で地元の魚がどのように漁獲されているのか伝え、感



体と心の元気は食事から！
地産地消の給食で食育を！

子育て世代の移住定住支援について

問 想を漁協に届ける。希望する浜坂高校生にも提供しては。

町長 連携も含め、考えていく。

問 この人気の給食を希望する浜坂高校生にも提供しては。

町長 日本一、県下一のこども園を早期に目指す。

問 町内に産婦人科がなく、検診・出産時に不安な時もあるが。

町長 子育て世代包括センターを設置し、個別相談もある。数々の支援策で妊産婦を支援していく。

問 将来的には、豊岡市、鳥取市が更に近くなる。通勤助成・地元就職者の奨学金制度を支援しては。

町長 検討する。

高齢者の暮らしと生きがいについて

問 高齢者の貴重な経験・実績を活かした、町にすべき。

町長 活動が、社会貢献となり、認められる

コロナ禍における地域産業の支援について

問 支援策を増やすべき。

町長 プレミアム商品券の再販売などを考えている。

男女共同参画で社会を豊かに

問 男性・女性ともに暮らしやすい町に。

町長 バランスの良い町づくり。女性活躍の場を作る。



谷口 功 議員



浜坂こども園は安全第一、移転改築を

町長 現在地が最適ではないかと考えている

安全性をどのように検討したのか

問 4月に配布された総合防災マップに現在地周辺の田は5メートル以上、昨年5月兵庫県発表のハザードマップは5〜10メートルと表記されている。どうちがうのか。

町長 どのように違うのかわからない。

町民安全課長 県の資料を基に作成している。

問 県の表記と町の表記がなぜ違うのかを聞いている。24時間雨量

51.8ミリ、最大浸水深8.4メートル、2階建て、3階建ての家が浸水すると町のマップには書いてある。それでも町長は繰り返し安全性を検討して現在地だと答弁されているが、県と町のハザードマップの違いも認識されていないのに、何を基に安全だというのか。

町長 10メートルというのは園だけの問題ではない。町全体の問題だ。すべての見直しが必要になる。公も個人の家も駅舎も水につかる。これまでの町づく

りそのものの大幅見直しが必要になる。千年に一度のデータか、50年に一度のデータを基

本にしてまちづくりをするのか。極論で町づくりをする、ここには住めないことになる。**問** 極論ではなく、ハザードマップに示されていることをそのまま述べているに過ぎない。

町長 自然災害に100%はあり得ない。

問 町長は安全性を十分検討したと、4年間

現在地の提案を繰り返されている。しかし県と町のマップの違いさえ説明できずに、何を検討したのか。議会はしっかり議論をして、

現在地はふさわしくないと繰返している。安全性はもちろんのこと、財政見直し、人口ビジョン、公共施設等総合管理計画、上・下水道経営戦略等、町の骨格をどのようにつくっていくのかを見直し、速やかに新たな提案をすべきではないか。

町長 やはり現在地が最適ではないかと、考えている。

教育長 これまで取り組んでいる三密対策や消毒の徹底、不織布マスクの使用、室内の換気の徹底を図りたい。

コロナの爆発的感染拡大に万全の対応を

問 コロナのデルタ株により感染が拡大した。

これまで子どもは感染しにくいとされていた。飛沫感染で、空気感染はしないとされていたが、そうではなくなつた。園や学校での感染対策が重要だ。



人口減少と町づくり、子どもの未来は

町長 町の魅力、自然、温泉を含め、町づくりに活かす

人口減少と町づくり



太田 昭宏 議員



温泉を含めて町づくりに活かしたい。

問 20年先の町の人口は、7千人台になる可能性はある。また、先日の日経新聞では、2064年の97億人ピークに世界の人口は減少するとの衝撃的な記事

問 限られた財力、資源では焦点化した取組が必要である。何に力を集結させるのか。

を載せていた。このような状況で、何に力を注いできたのか。

町長 これからも温泉を軸にした町づくりを進めていきたい。

町長 医療費の無料化など、子育て対策を重点に取組んできた。

問 インターンシップを取り入れ、Uターンに力を入れる。あるいは、男性の育児休暇取得百パーセントを掲げるのはどうか。

町長 他市町も必死で取組んでいる。小さな町では、町民の知恵と力で乗り切ることが大切。

町長 Uターンは極めて重要であるが、まずは出さない努力が必要。男性の育児休暇は、一般の事業所では難しい。

町長 町のもっている魅力、力、資産、自然、サービス

問 行政組織の改革や、サービスの縮小が予想

される。住民に、説明、理解、協力を求めることが必要ではないか。

町長 住民への情報公開、説明責任は重要である。



国指定天然記念物『三尾大島』

うが、どうか。

町長 若い人の力は、次の時代を担うことから重要である。

文化財の保存活用

問 文化財の保存の取り組みは、どうか。

生涯教育課長 所有者が保存費用を出している。保存団体には、補助事業として補助金を出している。

問 文化遺産のもって

いる価値を、子ども達にどのように伝えていくのか。

生涯教育課長 文化財を活用しての、ふろさと教育を行っている。

子どもの成長と展望

問 保護者の願いや不安などの把握、地域での教育の方針や取組の説明は出来ているか。

教育長 地域での説明の場は設けていない。各校で実施する、アンケートの内容、結果は把握している。リーフレットを作り、町の教育を多くの人に知ってもらいたい。

問 十年先の展望は、どうか。

教育長 今の環境が維持できないこともあるが、魅力ある教育を推進し、持続可能な社会の担い手となる子ども達の育成につなげたい。

総務産建常任委員会

9月7日開会

牧場公園課

但馬牛管理技術習得支援プログラム事業の要綱の改正について

Q 改正の具体的な理由は。

A 夢と現実のギャップがある。申請するこ
とで自覚の再確認とな
る。挫折を無くす意味
もある。

農林水産課

令和3年度一般会計補
正予算について

Q 災害復旧は緊急か
応急か。

A 通常の査定を受け
て災害復旧を予定して
いる。今回の補正は7
月豪雨分で、8月豪雨
は11月に補正したい。

税務課

Q 軽自動車税で台数
が減だが、税額が増に
なっている理由は。

A 軽自動車13年経過
すると税額が7千2百
円から1万2千9百円
にアップするため。

【協議事項】

温泉町過疎地域の持続
的発展の支援に関する
固定資産の課税免除に
関する条例の制定につ
いて

説明 過疎地域の持続
的発展の支援に関する
特別措置法の施行、地
方税法の規定に基づき
制定するもの。

Q 今回対象となった
情報サービス業とは。
また、農林水産業の販
売業とは。

A インターネットの
クラウドサービスなど
で現在町内にはない。
農林水産業の販売業は
6次産業的なもの。

商工観光課

Q プレミアム商品券
2万セットの利用者は
把握できているか。

A 商工会でデータ化
できている。利用の結
果は業種単位などで報
告したい。

【協議事項】

町内共通商品券発行事
業

Q 前回、購入できな
かった人を優先させる
べき。

A 1週間程度は未購
入者にも、残りがあ
ればフリーで販売する
よう考えている。

Q お金のある人が得
をする政策だ。給付型
商品券も考えるべき。

A 福祉政策は、担当
課が検討する。

ほとと新温泉宿泊助成
事業

Q 宿泊助成は平日限
定にし、施設によって
チグハグにならないよ
うに。

A 事業をよく説明し、
個々の宿泊事業者でプ
ランを考えてもらう。
強制はしない。

Q 必要性は理解でき
るが現在の状況では無
謀、宿泊助成は実施時
期を再考すべきでは。

【協議事項】
過疎地域持続的発展計画
を定めることについて

A カニシーズンも加
味したところである。
現在の緊急事態宣言の
終了を見込んでいる。
コロナの状況で変更す
ることもある。

賛成多数で事業の補正
予算承認

企画課

地方創生総合戦略の令
和2年度実績について

Q 戦略の究極は人口
対策だ。実績報告の内
容では不足している。

A 今後、課題を分析
し、次期に対応したい。
資料は提出する。国勢
調査速報値では13、
328人、人口ビジョ
ンが13、600人で
270人の差。5年間
の実績では出生が20人
程度少ない。

A 過疎計画は過疎債
の財政支援を最大限に
考慮するものである。
具体的な意見は総合計
画に盛り込んでいき
たい。また、計画変更も
可能である。

Q 再生可能エネル
ギーが新項目になった。
温泉の利活用の記事は
ないのか。

A 意見は今後に反映
したい。総合計画の中
でも議論していきたい。

総務課

健全化判断比率及び資金不足比率について

Q 財政調整基金20億は妥当な金額か。庁舎建設の資金はどうするのか。

A 残基金の保有は、標準財政規模60億から見れば3割程度（県平均32％）で妥当と思われる。庁舎建設は別に基金積立てすべき。

【協議事項】

令和3年度一般会計補正予算

Q 一般管理費は人事異動による減との説明。どのような職種か。

A 6月15日異動の職員は本年度採用の総務課運転員で事務処理も堪能であり健康福祉課に補充し、コロナ事務を充足させた。

民生教育常任委員会

9月9日開会

こども教育課

【協議事項】

浜坂認定こども園整備候補地検討業務について

Q 何のための予算か。

A 現在の調査は完了している。今般、役場東側候補地の調査、検討を行い、住民への説明資料とする。

Q 候補地を対等な立場で考えているのか。

A 現在地で進めたい。現在地の立地条件は、自然、歴史。文化環境に恵まれている。

賛成2・反対4で承認せず。

生涯教育課

【協議事項】

Q 偉人マンガ発行部数の増加について理由は。

A 2千冊を3千冊に増やす。加藤文太郎の業績により、新温泉町をPRするため。

町民安全課

【協議事項】

兵庫県市町交通防災共済組合の解散について

兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部改正について



浜坂認定こども園、役場東側候補地

説明 近年、共済への加入人員が減少し、毎年多額の基金を取崩していた。このため、行政が実施する交通災害共済事業が一定の役割を終えたものとして、令和元年度に同共済期間を終了することが、平成29年度に協議決定され、令和3年度末日をもって本組合を解散すること並びに残余財産の配分及び解散後の事務の継承について、各市町議会の同意が求められたもの。

健康福祉課

【報告事項】

新温泉町インフルエンザ予防接種費用助成事業実施要綱について

説明 今年度も一人1回、2千円の助成を実施する。（13歳未満のみ2回接種分が対象になる。）

いきいき百歳体操健康ポイント制度について

説明 参加ごとに参加者はポイントがもらえ、100ポイント貯まると町指定ゴミ袋とマスクのセットと交換ができるようにする。また、皆勤賞も設けて更なる普及を目指す。

公立浜坂病院

【協議事項】

公立浜坂病院事業会計補正予算

Q 給湯配管の老朽化での改修工事だが、どのように確認できたのか。床下配管か、天井内配管か。

A 天井内架空配管で、点検口からでも確認でき、漏れも発生している。施設は全体的に老朽化が進行しており、ブルーシートで雨漏りの応急対応している箇所さえある。

令和 3 年 9 月 第109回定例会 提出議案一覽

発案番号	件 名	発案番号	件 名
報告第8号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	議案第88号	令和3年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第73号	新温泉町ふるさとづくり寄付条例の一部改正について	議案第89号	令和3年度新温泉町水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第74号	新温泉町奥八田交流施設条例の制定について	議案第90号	令和3年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算(第2号)について
議案第75号	新温泉町過疎地域の持続的発展の支援に関する固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	議案第91号	令和3年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について
議案第76号	新温泉町過疎地域持続的発展計画を定めることについて	認定第1号	令和2年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第77号	豊岡市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の変更について	認定第2号	令和2年度新温泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第78号	町道路線の認定について	認定第3号	令和2年度新温泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第79号	兵庫県市町交通災害共済組合の解散について	認定第4号	令和2年度新温泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第80号	兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分について	認定第5号	令和2年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第81号	兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更について	認定第6号	令和2年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第82号	令和3年度新温泉町一般会計補正予算(第4号)について	認定第7号	令和2年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第83号	令和3年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	認定第8号	令和2年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第84号	令和3年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	認定第9号	令和2年度新温泉町水道事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第85号	令和3年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	認定第10号	令和2年度新温泉町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第86号	令和3年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算(第2号)について	認定第11号	令和2年度新温泉町公立浜坂病院事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第87号	令和3年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算(第2号)について		

第109回定例会 議案採決一覧表 (R3.9)

議 案 名	池田宜広	河越忠志	重本静男	浜田直子	森田善幸	太田昭宏	竹内敬一郎	阪本晴良	岩本修作	中村茂	宮本泰男	中井次郎	谷口功	小林俊之	中井勝	賛成	反対	採決
令和3年度新温泉町一般会計補正予算(第4号)に対する修正案	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	9	5	可決
令和2年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	12	2	認定
令和2年度新温泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	12	2	認定
令和2年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	2	認定

○は賛成を、×は反対を示し、欠席は表決に参加しなかったことを示しています。議長は採決に加わりませんので、「―」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が決します。(全員賛成議案は省略)

議
会
日
誌

(7月)

2日 議会広報調査特別委員会

中日本町村議会議長会

長會議《富山市》

6日 全国豪雪地帯町村議会議
長会総会、全国町村議会

長会総会 全国町村議会
義長会 臨寺総会、町村義

議長会臨時総会 町村議長
議員共済会代義委員会、

町議会議員互助会代議員会

田 議 会 議 員 互 助 会 代 議 員
会、(二財)全 国 町 村 議 員

会館臨時評議員会《東京都》

7日 全国町村議会議長会都道

府県会長会《東京都》

9日 議会広報調査特別委員会

13日 兵庫県町議会議長会正副

会長会議・評議員会議《神

戸市

16日 民生教育常任委員会

20日 総務産建常任委員会

28日 兵庫県町議会議長会第72

回定期総会《神戸市》

(8月)

3日 但馬広域行政事務組合議
会三例会《豊岡市》

9日 第1回地方行政果樹開室
会定例会《豊岡市》

19日 第1回地方行政課題研究会（web会議）

27日 議会（web会議）
重営委員会

新温泉町交通対策委員会

3日 新潟県交通安全委員会
(9月)

9月1日(土) 27日 第109回新温泉

町議会定例会

1日 議会運営委員会

2日 全員協議会

3日 議会広報調査特別委員会

7日 総務産建常任委員会

9日 民生教育常任委員会

15日～24日 決算特別委員会

24日 議会運営委員会、民生教

育常任委員会

28日 北但行政事務組合議会運

営委員会《豊岡市》



挿し絵 清水伸子氏

スキー楽しみながら仲間づくり！

温泉雪友会

会長 竹中 静夫

活動内容は…スキー技術研修(雪上)を名目

上の活動としていますが、実は会員相互の親睦を図ることが主目的となり、一夜研修会は特に盛り上がります。恒例行事のスキーツアーは、遠くは信州路へ、近年は一泊二日で大山のスキー場でシュプールを描いています。

いつから…1962年に、スキークラブとして兵庫県スキー連盟に登録することを目的として設立・発足しました。

メンバーは…旧温泉町内在住者を中心に24名の会員がいます。会員の内、県連登録指導員1名、同準指導員3名、同永久認定指導員9名の計13名の県連普及部有資格者の他、1級10名、2級1名が所属しています。が、資格は入会要件ではありません。

セールスポイントは…会員の大半が超熟年ですが、生涯スポーツとして健康管理にも配慮しながら、まずは、本人がスキーを楽しむ仲間づくりをしています。会員にはスノーボードの指

導員はいません。社会人で初心者・再挑戦者でも興味のある方は声をかけて下さい。
今後の抱負は…技術の研鑽をする中で若手会員は雪面に果敢にチャレンジ、還暦を過ぎた会員は体力に応じた滑りを行きたいと思っています。また、活動を通じて減少するスキー人口のすそ野を少しでも広げる一助になればと思っています。



皆さんにお願したこと…少子高齢化、スポーツの多様化、暖冬などで、かつてのスキー場の賑わいとは大きく様変わりしましたが、幸いファミリー層(第三世代)がスキーを親しむ姿を多く目にするようになり、身近にある白い恋人と上手く触れ合い、楽しい冬を満喫していただきたいと思っています。

その他何でも…発足より60年を迎えますが、活動を支えてくれた諸先輩・同志への感謝と、これからも頑張りたいと、昨年、4回目のユニフォームを新調しました。

文責：中井憲司(顧問)

編集後記

議会の様子をお伝えできるように、議会広報誌「しんおんせん議会だより」を、作成しています。少しでも、分かりやすく見て頂ける広報誌になるよう、「議会広報特別委員会」のメンバーが、模索しつつ編集してきました。

年4回の定例議会後に発行し、新しい情報をお伝えしています。慣れない作業も多く、協力しながら発行しています。なかなか進まない議案もありますが、全議員が協力しながら進められないものかと思っています。

新温泉町議会は、これからの新温泉町が益々良くなるために努力していきます。

(N・H)

次回定例会は12月です。傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

委員長 阪本晴良
委員 河越忠志
浜田直子
森田善幸
竹内敬一郎

発行者 議長 中井 勝